

教 育 委 員 会 会 議 録

令和7年2月

教育長	教育次長	学校教育課長	社会教育課長	会 議 ・ 区 分
				定 例 会
開会場所	加悦保健センター2階 農事相談室		担当書記	中 上 伸 午
会議日程	自 令和7年2月26日(水) 1日間 至 令和7年2月26日(水)			
出席者数	委員 5名 出席			
出席委員	教育長 長島 雅彦 委員 酒井 英隆 委員 植田 智子		委員 樋口 潔 委員 佐々木 和代	
欠席委員				
説明者	教育次長兼学校教育課長 中上 伸午 学校教育課主任 田中和恵 社会教育課長 小谷 貴儀 総括指導主事 高岡 弘安 人事指導主事 森谷 秀博			
署名委員	委員 樋口 潔		委員 植田 智子	
その他	【傍聴者】 なし			

会 議 に 付 し た 事 件

項 目	件 名	結 果
審議事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ 議案第24号 専決処分の承認を求めることについて 令和7年3月与謝野町議会定例会の議決を経 るべき議案に対する意見照会について ・ 議案第25号 令和7年度与謝野町立小・中学校の管理教職 員の人事異動の内申について 	承認可決 承認可決

協 議 及 び 報 告 事 項

項 目	件 名
協議事項	・ なし
報告事項	・ なし
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度分の与謝野町教育委員会事業に係る外部評価について ・ 部活動地域連携・地域移行について ・ 今後の予定について

教育委員会会議録

- 1 日 時 令和7年2月26日 午前9時30分から午前11時50分まで
- 2 場 所 加悦保健センター2階 農事相談室
- 3 議事の概要

[長島教育長]

それでは定刻になりましたので、令和6年度第11回与謝野町教育委員会会議を開催したいと思います。本日、会議の傍聴はありませんでした。

それでは、お配りしております日程に従いまして、会議を進行いたします。

日程第1「会議録署名委員の指名」についてでございますが、樋口委員と植田委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(両委員とも了承)

[長島教育長]

承認をいただきましたので、よろしく願いいたします。

次に、日程第2、「確認事項」といたしまして、会議録の確認をお願いいたします。

はじめに、12月25日に開催いたしました令和6年度第9回教育委員会会議の会議録につきましては修正はありませんでした。本会議終了後に署名をお願いいたします。

[長島教育長]

続きまして、1月30日に開催いたしました令和6年度第10回教育委員会会議の会議録につきましては、修正等はありませんでしょうか。

[樋口委員]

文言の削除と一部訂正をお願いしましたが、内容が大きく変わるものではありません。よろしく願いします。

[酒井委員]

私の発言で、学校名が出ている箇所を削除を依頼しました。

[長島教育長]

ご指摘の箇所を修正し、次回の教育委員会会議で承認・署名いただくことといたします。

[長島教育長]

続いて、日程第3、「教育長の報告」に入らせていただきます。

二十四節気では先週18日が雪や氷が溶けて水になり、雪が雨に変わる「雨水」でございました。この冬は立春を過ぎてからの遅めの寒波が続き、東北・北陸地方を中心にかつてない記録的な積雪となっています。当地域では幸いにして、生活に大きな支障が出るほどの積雪とはなっていませんが、積雪のある期間が長く続き、とりわけ子どもたちの登下校の安全確保に注意・気を遣う日が続いています。

さて、今月12日には、加悦中学校において総合教育会議が開催され、英語のAIアプリを活用した授業を参観していただき、当日は感想や忌憚のないご意見をいただいたところでございます。

そして、今月の校園長会議での話題になるのですが、地震・防災教育に係る話になります。今年は阪神淡路大震災から30年目で先月17日には、様々な行事・式典や当時を振り返る報道番組もございました。レジュメに阪神淡路大震災以後の大きな地震を載せました。大きなもの多くの人命に関わるものだけを載せましたが、これだけありました。改めて日本は世界有数の地震国であり、地震は人ごとではない自分事、いつ大きな地震が起きても不思議でないと痛感する次第でございます。

南海トラフ巨大地震が高い確率で発生が予想される今、少なくとも私たちが今見ている子どもたちが遭遇するであろうという危機意識だけでなく、想定死者数が約32万人と言われる未曾有となる大災害に対して、防災対策とともに防災教育によって「命」を守る具体的な術・生き抜くための具体的な知恵を身に付けさせる必要があると強く思います。

次の京都府災害時学校支援チーム(D-EST 京都)ですが、これについては管内の教育長会議の資料を用意しています。資料にあるこの組織の目的のところだけを確認しておきたいです。来年度は防災対策・防災教育を本格的に進めていく初年度になるかと思えます。ちなみに3年で200名程度のチーム員を養成するとされており、初年度となる令和7年度は町・組合から1名の派遣になると聞いています。

続いて校園の様子ですが、この3学期は、まとめの学期そして次年度に続く0(ゼロ)学期として、各校園で多くの取組や行事がなされています。12月中旬に猛威を振るい、新年当初も懸念されていた季節性インフルエンザは、有り難いことに収束し、定点把握の数値もレジュメにあるとおりのもとなりました。卒園卒業に向けた取組、高校入試に対する影響も避けられるものと思っています。

卒園卒業式の日程はレジュメにあるとおりです。昨年と同様の形で委員の皆様には、お世話にさせていただければとお願いいたします。中学校と高校の3年生にとっては3分の1がコロナ禍、小学校6年生にとっては3分の2がコロナ禍を過ごしたことになります。制約や制限が減ったこの2年間で、その年代でしかできないこと・学べないことを手にしてくれての卒園・卒業であることを願いたく思います。

そして高校入試に係る日程も、併せて見ていただければと思います。昨日25日には公立高校前期選抜の合格発表が行われました。3年前の入試から公立高校普通科の前期選抜の割合が、定員の20%から30%に変更されています。前期選抜受験者の割合は、今年度は中学3年生全体の44%で、昨年度は36%でした。また、私立高校受験者の割合は今年度は66%で、昨年度は72%でした。この3年間を見た場合、公立高校前期選抜受験者が増加し、逆に私立高校受験者は減少するという流れとなっています。この後、最も大きな山場となる3月7日の公立高校中期選抜においても、健康に留意しながら受験生が最大限の力を発揮することを願っております。

続いて、子どもたちの頑張る姿をお伝えしたく思います。2月9日には第47回京都府

民総体市町村対抗駅伝が開催される予定でしたが、雪のために残念ながら中止となりました。当日は他地域に進学した高校生も、帰省して町の代表として頑張ってくれる予定でもありました。また、22日には人権啓発優秀作品の表彰式が執り行われ、多くの児童生徒が表彰を受けたところでございます。

また、3月4日に開会いたします定例会ですが、レジュメにあるとおりの一般質問がございませう。

最後になりますが、次第にあるいますように本日は沢山の審議・報告事項がございませう。この後のご協議をよろしくお願ひいたします。

[長島教育長]

それでは、次に日程第4、「審議事項」に入らさせていただきます。

始めに、議案第24号「専決処分の承認を求めることについて」、令和7年3月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見照会についてを議題とします。

[長島教育長]

提案理由等について 中上教育次長及び小谷社会教育課長が説明いたします。

(中上教育次長及び小谷社会教育課長から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございませうか。

[樋口委員]

多岐に渡る説明でしたので、疑問点がありましたら逐次、質問をさせていただきたいと思ひます。

GIGAスクールのタブレット端末が、今回、令和7年度に切り替えの時期ということので、新しく全部変わるといふ認識で良かったのかと思ひますが、初めてのことで、生徒数から見てどれ位の数量を導入したのか、動作確認や補償であったり、そうしたことを考へての設定であったりと、かなり難しいのかと思ひます。今回の新規更新において、配慮されている点やお気づきになられたことがありましたら教えていただけませうか。

[中上教育次長]

タブレット端末の補助に上がるのは生徒分だけです。補助の上限が1台当たり5万5,000円に對しまして、その3分の2が補助対象になります。補助対象だけだと、生徒分しか当たらないのですが、実際は教員分が必要になります。

またタブレット端末以外の付属品については補助対象にならないのですが、それも購入しなければならぬので、実際のタブレット購入については、1台で7万9,000円程度掛かってきます。

タブレット端末の台数は、補助上は生徒分しか当たりませうが、実際は教員分が入りますので、補助上の数字よりも大きな数字になります。今手元に資料がありませんので、確認でき次第お答えさせていただきます。

[樋口委員]

それと気になりましたのは、I-フィルターです。今後、帰宅時もタブレット端末を使うことによって、学校現場での活用を更に進めていくというお話を伺っております。これは早期に対応されるということなののでしょうか。それとも、もう既に始まっているのでしょうか。

[中上教育次長]

I-フィルターについては、令和7年度に整備していくこととなります。

現在、自宅にタブレット端末を持って帰った場合、既存のアップルフィルターしか掛かっておりませんので大まかな制御しかできませんが、これを令和7年度から細かく設定・制御ができるI-フィルターに変えていくことにより、自宅でも学校現場と同じように制御できるようになります。

[樋口委員]

予算の関係もあると思われるのですが、早期に対応していただきたいと思います。気になるところは他にもあるのですが、追々、質問をさせていただきます。

[長島教育長]

他に、質問等はありませんか。

(委員からの質問なし)

[長島教育長]

それでは、議案第24号「専決処分の承認を求めることについて」、令和7年3月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見照会について、提案の通り承認される方は挙手をお願いをします。

[長島教育長]

挙手全員でございます。議案第24号「専決処分の承認を求めることについて」、令和7年3月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見照会については、提案の通り承認されました。

[長島教育長]

ここで暫時休憩とします。

(暫時休憩)

[長島教育長]

休憩を閉じ再開したいと思います。ここで委員の皆様にも、会議の公開に関してお諮りをいたします。

[長島教育長]

与謝野町教育委員会会議規則第14条において人事に関する事件その他について、教育長または委員の発議により、出席者の3分の2以上の多数で議決したときは秘密会とすることができると定めております。議案第25号につきましては人事に関する事件であり、与謝野町教育委員会会議規則第14条に該当しますので、公開しないといたしたいと存じますが委員の皆様よろしいでしょうか。

(委員了承)

全員ご異議がございませんので、本議案については会議規則第14条により会議を公開しないことと議決をいたします。

(担当者説明後 議案第25号 審議終了)

[長島教育長]

では、暫時休憩とします。

(暫時休憩)

[長島教育長]

会議を再開します。次に、日程第5「その他」に入らせていただきます。

順番を入れ替えさせていただきます、「部活動の地域連携移行について」、森谷人事主事兼指導主事が報告をいたします。

(森谷人事主事から資料に基づき説明)

[酒井委員]

この話は教職員の働き方改革と言われる様な話をされていたので、検討をしていただけた様になったこと自体が大変良い事だと思います。まだ検討中ですので、細かい部分の質問は追々させていただきたいと思います。

1点目は合同部活動の話です。子どもは部活動をする以上、勝ちたいと思うのですが、合同で組んだチームでも京都府大会や近畿・全国大会への出場が認められるのか、また勝ち上がった場合、上部大会に出場できないことがあるのか教えていただきたいです。

2点目は京都市内の中学校では、強制的に部活動に加入しない学校も多いと聞きます。これは全国的にどちらが主流になっているのかは分かりませんが、徐々に強制では無い流れになっているのかと思われまます。与謝野町でこれを維持し続ける理由についてお伺いしたいと思ひます。

[森谷人事主事]

まず、合同部活動のチームが上位の試合に出場可能かどうか、これにつきましては、中学校体育連盟の方も地域移行に関わりまして、今までのルールもどんどん改善をしています。従って、上位の大会出場は可能になってきています。ただし、スポーツ団体に加入している生徒が中学校籍で二重籍になっている場合は、大会に出場することは認められま

せんので、あくまでも中学校の籍で大会に出場したい生徒は、スポーツ団体からは籍を抜いてもらう様な形が基本となりますが、中体連としては参加は可能となります。

それから、全員加入制の問題です。傾向としては、おっしゃる通り全員加入制は徐々に減少の傾向になっています。京都府では南部になるほど全員加入制を辞めるという動きが非常に強いです。それは地域に受け皿が非常にたくさんあるという事と、eスポーツ等に価値観の多様化と言われる様なものが価値を置かれる様になってきており、必ずしも学校で活動することだけを中心に置くことがどうかという事になるのかと思います。

しかしながら、与謝野町におきましては、部活動を行うことで得られる意義が非常に大きいということを踏まえまして、当面は全員加入制を維持をしていきたいという風に考えていますが、保護者の中ではどうなのかというご意見を、正直お持ちの方はおられるのではないのかと思います。与謝野町としては、全員加入制をしばらくは継続していきたいと考えています。

[酒井委員]

分かりました。1点目については、その様な話なのかと思われまます。2点目については、維持をされるものの、おっしゃられた通り様々なご意見がありますので、結論を急ぐものではありません。

[長島教育長]

佐々木委員お願いします。

[佐々木委員]

教職員の方も部活動に携わりたい方はおられると思うのです。この働き方改革という面では、地域連携の中で行っていく方向ではありますが、自身で希望される教職員がどうなのか、例えば、手当が付く等そういうことがあるのでしょうか。

[森谷人事主事]

そこはどうしても出てくる問題で、教職員の中にも部活動の指導に非常に価値を見出ししている者もおりまして、地域に移行するのではなく、学校で持っておきたいというふうに思っている教員もいます。

教員にも地域移行・地域連携を進めていく上で、地域の指導者として部活動を携わることについてどうかというアンケートの実施をさせていただいています。何名かの教員が、いわゆる、上着を着替えて学校の教員ではなく、地域の指導者として指導に携わりたいと回答している教員がおります。

種目的には卓球・野球・サッカー・ソフトテニス・バスケットボール・陸上は、既に回答を得ています。従って、教員の負担軽減という意味ではユニフォームを着替えているだけ、教員から地域指導者に代わっているだけで、負担ということにおいては代わりはありません。それも認められている範囲として、兼業・兼職の届を出した上で、地域指導者として活動する者も出てくるだろうと思いますし、実際に先行している地域では、いくつかそうした例も出ています。

[佐々木委員]

その場合は先程おっしゃられた様に、時給が発生するという認識でよろしいでしょうか。

[森谷人事主事]

その様になります。

[佐々木委員]

団体競技の野球・サッカー・バスケットボールは確かに有効かと思われるのですが、個人でできる様なソフトテニスや卓球においても、地域移行を目指していくことになるのでしょうか。

[森谷人事指導主事]

目指す方向性としてはそういった方向になりますが、まずは個人種目では無く、今、人数が足りていない団体種目から始めていく。将来的には進み具合を見ながら、できれば合同チームという感じで実施をしていける様になればと思います。

[長島教育長]

地域の方々、保護者の方々にとっては非常に関心の高い内容で、かつ本当にどうなるのだろうかということで、いろいろ不安もお持ちのところもあるのかと思われます。

来年度からの具体的な動きになるので、説明は年度が変われば、生徒・保護者にも必要になってくると思います。この件も継続して、気づかれた時にお問い合わせをしていただけたらと思います。また、こちらからも進捗状況について、その都度お伝えさせていただきたいと思います。

[長島教育長]

続きまして、「令和5年度分の与謝野町教育委員会事業に係る外部評価について」、中上教育次長が報告いたします。

(中上教育次長から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[酒井委員]

今日、資料をいただきました。

[長島教育長]

それではまた資料を見ていただき、お気づきになられた点がございましたら、こちらの方にお願ひできればと思います。今後の予定について、中上教育次長が説明いたします。

[中上教育次長]

次回の教育委員会議等の日程調整をさせていただきたいです。

(次回、教育委員会及び各会議の日程調整)

[中上教育次長]

次回の教育委員会議については、3月10日(月)臨時会となります。午前9時半からお世話になりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

[長島教育長]

以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

午前11時50分 終了

教育長

委員

委員

書記

議案第 24 号

専決処分の承認を求めることについて

令和 7 年 3 月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見
照会について

与謝野町教育委員会教育長に対する事務委任規則（平成 18 年与謝野町教育
委員会規則第 5 号）第 3 条第 1 項の規定により教育委員会の権限に属する事項
について、別紙のとおり専決処分をしたので、同条第 2 項の規定によりこれを
報告し、承認を求める。

令和 7 年 2 月 26 日提出

与謝野町教育委員会
教育長 長 島 雅 彦

提案理由

令和 7 年 3 月与謝野町議会定例会への提出議案に関し、地方教育行政の組織
及び運営に関する法律第 29 条に基づく町長からの意見聴取について、教育委
員会を招集する時間的余裕がなかったため、与謝野町教育委員会教育長に対す
る事務委任規則の規定により専決処分したので、これを報告し、承認を求める
ものである。

専決第1号

専決処分書

与謝野町教育委員会教育長に対する事務委任規則（平成18年与謝野町教育委員会規則第5号）第3条第1項の規定により別紙のとおり専決処分する。

令和7年2月25日

与謝野町教育委員会
教育長 長 島 雅 彦

別紙

令和7年3月与謝野町議会定例会の議決を経るべき議案に
対する意見について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により、令和7年2月21日付6与総第631号で意見を求められました令和7年3月与謝野町議会定例会に提出される当委員会関係議案に対する意見は、下記のとおりであります。

記

- 1 令和6年度与謝野町一般会計補正予算（第10号）
- 2 令和7年度与謝野町一般会計予算について

以上2件について、異議ありません。

令和6年度

一般会計補正予算（第10号）資料

（教育委員会 学校教育課所管分）

令和6年度 一般会計補正予算(第10号): 学校教育課補正予算資料

■ 予算額推移表(歳入)

(単位:千円)

予算書頁	款	項	目	節	補正前額	補正後額	当初予算額	補正予算額						説明
								1号	2号	4号	7号	8号	10号	
16	使用料及び手数料	使用料	教育使用料	教育総務使用料	1,056	824	1,056	0	0	0	0	0	△ 232	教職員住宅使用料 ※実績見込みによる減
18	国庫支出金	国庫補助金	教育費国庫補助金	小学校費補助金	1,377	1,091	1,377	0	0	0	0	0	△ 286	理科教育設備整備費補助金 ※実績見込みによる減
18				中学校費補助金	1,135	1,084	1,135	0	0	0	0	0	△ 51	理科教育設備整備費補助金 ※実績見込みによる減
20	府支出金	府補助金	教育費府補助金	教育総務費補助金	320	5,210	320	0	0	0	0	0	4,890	子どもの教育のための総合交付金 ・文化芸術事業、教育相談事業、英語検定支援事業、採点支援システム導入事業
24	諸収入	貸付金 元利収入	教育費貸付金 元利収入	奨学資金貸付金 元利収入	2,260	3,974	2,260	0	0	0	0	0	1,714	奨学資金貸付金償還金
24		雑入	雑入	雑入	853	513	853	0	0	0	0	0	△ 340	日本スポーツ振興センター災害給付金医療費調整金
26	町債	町債	教育債	小学校債	12,000	11,300	12,000	0	0	0	0	0	△ 700	小学校施設整備事業債

令和6年度 一般会計補正予算(第10号): 学校教育課補正予算資料

■ 予算額推移表(歳出)

(単位:千円)

予算書頁	款	項	目	事業	節	補正前額	補正後額	当初予算額	補正予算額						説明
									1号	2号	4号	7号	8号	10号	
52	教育費	教育総務費	教育振興費	奨学金貸付事業	貸付金	1,692	1,272	1,692	0	0	0	0	0	△ 420	実績による減
52				不登校等対策事業	報酬	10,162	10,380	9,566	0	0	0	0	596	218	会計年度任用職員 実績による増
52			外国青年招致費	ALT事業	旅費、負補交	14,411	13,241	15,989	0	0	0	0	△ 1,578	△ 1,170	実績による減
52		小学校費	学校管理費	小学校管理運営事業	報酬、職員手当等、共済費他	182,539	177,225	183,795	0	270	541	△ 1,107	△ 960	△ 5,314	特別支援員 実績による減
54				小学校施設整備事業	設計委託料	7,141	6,471	13,000	0	0	△ 3,500	△ 2,359	0	△ 670	実績による減
54			教育振興費	小学校情報教育推進事業	消耗品費	1,865	1,892	1,865	0	0	0	0	0	27	印刷機トナー代
54				小学校教育設備整備事業	備品購入費	2,167	1,604	2,167	0	0	0	0	0	△ 563	実績による減
54				小学校就学援助事業	扶助費	12,150	10,800	12,800	0	0	0	△ 650	0	△ 1,350	新入学学用品費・修学旅行費の減
54		中学校費	学校管理費	中学校管理運営事業	報酬、職員手当等、共済費他	58,813	56,741	62,041	0	0	0	△ 633	△ 2,595	△ 2,072	特別支援員 実績による減
54				中学校組合負担金	負補交	84,253	82,806	84,253	0	0	0	0	0	△ 1,447	実績による減
54			教育振興費	中学校教育設備整備事業	備品購入費	2,022	1,919	2,022	0	0	0	0	0	△ 103	実績による減
54				中学校就学援助事業	扶助費	10,400	9,420	10,500	0	0	0	△ 100	0	△ 980	新入学学用品費の減
56				中学校教育振興事業	使賃	11,197	10,125	10,220	0	0	777	200	0	△ 1,072	自動車借上料の減
58		保健体育費	学校給食費	学校給食センター管理運営事業	報酬、共済費	148,650	147,450	140,490	0	0	0	0	8,160	△ 1,200	会計年度任用職員 実績による減

令和6年度 一般会計補正予算(第10号): 学校教育課補正予算資料

■ 予算額推移表(歳出)

(単位:千円)

予算 書頁	款	項	目	事業	節	補正前額	補正後額	当初予算額	補正予算額						説明
									1号	2号	4号	7号	8号	10号	
	合計					538,275	523,531	539,182	1,749	270	△ 2,382	△ 3,143	3,623	△ 16,116	

令和6年度

一般会計補正予算（第10号）資料

（教育委員会 社会教育課所管分）

令和6年度 一般会計補正予算(第10号): 社会教育課補正予算資料

■ 予算額推移表(歳入)

(単位:千円)

予算 書頁	款	項	目	節	補正前額	補正後額	当初予算額	補正予算額			説明
								4号	8号	10号	

■ 予算額推移表(歳出)

(単位:千円)

予算 書頁	款	項	目	事業	節	補正前額	補正後額	当初予算額	補正予算額			説明
									4号	8号	10号	
38	民生費	社会教育費	児童福祉費費	児童福祉総務費	報酬	657	507	0	585	72	△ 150	会計年度任用職員 実績による減
56	教育費	社会教育費	社会教育総務費	社会教育管理事業	報酬、職員手当 等、共済費	7,395	6,028	6,993	0	402	△ 1,367	会計年度任用職員 実績による減
56			社会教育施設管理費	公民館管理運営事業	報酬、職員手当 等、共済費	24,342	22,647	21,991	0	2,351	△ 1,695	会計年度任用職員 実績による減
56				知遊館管理運営事業	報酬、職員手当 等、共済費	19,855	19,246	17,741	0	2,114	△ 609	会計年度任用職員 実績による減
56			文化財保護費	文化財保護事業	負担金、補助金 及び交付金	4,478	4,178	4,478	0	0	△ 300	伝統的建造物群保存地区の軽微な修理に対する補助 金実績による減 △300
56			図書館費	図書館管理運営事業	報酬、職員手当 等、共済費	22,290	21,701	19,490	0	2,800	△ 589	会計年度任用職員 実績による減
	合計					79,017	74,307	70,693	585	7,739	△ 4,710	

令和7年度

一般会計 当初予算資料

(教育委員会 学校教育課所管分)

■令和7年度当初予算概要（歳入）

《 学校教育課 》 （単位：千円）

款名称	項名称	目名称	節名称	令和7年度 当初①	令和6年度 当初②	増減額 ①-②	予算書頁	摘要
分担金及び負担金	負担金	教育費負担金	教育総務費負担金	5,000	5,000	0	16	橋立中学校事務費負担金
			小学校費負担金	319	340	▲21	16	日本スポーツ振興センター保護者負担金
			中学校費負担金	111	128	▲17	16	日本スポーツ振興センター保護者負担金
			保健体育費負担金	141,721	33,236	108,485	16	給食センター運営費負担金 20,568 給食センター施設整備負担金 121,153
使用料及び手数料	使用料	教育使用料	教育総務使用料	756	1,056	▲300	18	教職員住宅使用料
国庫支出金	国庫補助金	教育費国庫補助金	教育総務費補助金	48,913	352	48,561	24	公立学校情報通信機器整備費補助金
			小学校費補助金	1,084	1,377	▲293	24	要保護児童援助費補助金 35 理科教育設備整備費補助金 641 特別支援教育就学奨励費補助金 408
			中学校費補助金	1,024	1,135	▲111	24	要保護児童援助費補助金 71 理科教育設備整備費補助金 710 特別支援教育就学奨励費補助金 243
			保健体育費補助金	29,059	10,000	19,059	24	公立学校施設整備補助金 ※学校施設環境改善交付金 ・給食センター整備費 29,059
府支出金	府補助金	教育費府補助金	教育総務費補助金	287	320	▲33	28	地域ぐるみ学校安全体制整備推進事業補助金
			中学校費補助金	538	527	11	28	部活動指導員配置促進事業費補助金
財産収入	財産運用収入	利子及び配当金	利子等	7	3	4	30	奨学基金利子等
諸収入	貸付金元利収入	教育費貸付金元利収入	奨学資金貸付金元利収入	2,220	2,260	▲40	34	奨学資金貸付金償還金 2,111 " (滞納繰越分) 109

■令和7年度当初予算概要（歳入）

《 学校教育課 》 （単位：千円）

款名称	項名称	目名称	節名称	令和7年度 当初①	令和6年度 当初②	増減額 ①-②	予算書頁	摘要
	雑入	雑入	雑入	80,944	82,027	▲1,083	36 38	コピー料 1 公衆電話料 10 情報公開請求実費徴収金 1 給食費実費徴収金（給食センター）67,690 〃（滞納繰越分） 45 給食費実費徴収金（自校給食分） 12,345 〃（滞納繰越分） 1 日本スポーツ振興センター災害給付金医療費調整金 840 その他 11
町債	町債	教育債	小学校債	36,800	8,000	28,800	38	小学校施設整備事業債
			中学校債	1,900	0	1,900	38	中学校施設整備事業債
			保健体育債	735,900	64,300	671,600	38	給食センター整備事業債

■令和7年度当初予算概要（歳出）

《 学校教育課 》 （単位：千円）

款名称	大事業	令和7年度 当初①	令和6年度 当初②	増減額 ①-②	予算書頁	予算概要 資料頁	摘要
教育費	教育委員報酬	1,920	1,920	0	186		40,000円×12月×4名=1,920
教育費	教育委員会費一般経費	1,189	1,190	▲1	186		入学祝品（写真・ヘルメット） 484 卒業祝品（証書ファイル・印鑑） 331 全国大会等出場激励金 75
教育費	特別職人件費	13,315	13,331	▲16	188		教育長人件費
教育費	職員人件費	66,751	62,023	4,728	188		一般職人件費 8名
教育費	指導主事等設置事業	21,381	14,207	7,174	188		会計年度任用職員報酬等（指導主事3名、人事主事1名）21,257 ※勤務時間数の増、人勤による増
教育費	教職員住宅管理事業	141	139	2	190		緊急修繕費100
教育費	事務局費一般経費	9,903	6,419	3,484	190		会計年度任用職員報酬等（一般事務員1名）4,359 ※自動車購入費（ミニバン7人乗り）4,000の増
教育費	奨学資金貸付事業	3,672	1,692	1,980	190	102	継続（大学） 35,000円/月×12×3人=1,260 新規（大学） 50,000円/月×12×4人=2,400 R6：35,000円/月
教育費	不登校等対策事業	11,354	9,732	1,622	190	103	会計年度任用職員報酬等（指導員4名）11,084 （月～金 常時2人以上体制） ※報酬単価の増
教育費	学校教育振興事業	137,788	22,948	114,840	192	104	会計年度任用職員報酬等（ICT支援員1名）4,504 スクールガードリーダー2名謝礼 692 GIGA端末用I-Filter 5,019【新規】 校務用P C機器等に係る保守料 1,941 校務用P C機器等に係るリース料 5,584 特色ある学校づくり補助金 100千円/校×8校=800 GIGAスクール端末更新整備 R2で整備したタブレットの更新 タブレット等 79千円×1,440台（生徒・教員分）114,403
教育費	A L T 事業	16,453	15,989	464	194		会計年度任用職員報酬等（外国人講師3人）14,348 ※報酬単価の増 J E T への各種負担金1,076

■令和7年度当初予算概要（歳出）

《 学校教育課 》 （単位：千円）

款名称	大事業	令和7年度 当初①	令和6年度 当初②	増減額 ①-②	予算書頁	予算概要 資料頁	摘要
教育費	職員人件費	7,442	3,464	3,978	194		給食調理員 1名（岩滝小学校自校給食）
教育費	小学校管理運営事業	217,868	183,795	34,073	196		会計年度任用職員報酬等 特別支援員20名、学校用務員6名、学校事務員1名、一般作業員2名、スクールバス運転手8名 134,621 光熱水費22,437、修繕料5,500、パソコン等リース料13,374 日本スポーツ振興センター負担金 786 ※会計年度任用職員報酬・職員手当・共済費の増30,227
教育費	小学校施設整備事業	41,300	13,000	28,300	198	105	岩滝小学校給食配膳室改修工事設計委託 500 三河内小体育館・岩滝小特別教室棟屋根等改修工事監理業務委託1,300 三河内小体育館屋根等改修工事 25,000 岩滝小特別教室棟屋根等改修工事 5,000 小学校照明器具取替工事（LED化）6校 6,000 山田小学校配膳室シャッター取替工事 2,500 小学校既設空調機更新工事 1,000
教育費	自校給食管理運営事業	32,023	29,512	2,511	198		会計年度任用職員報酬等 調理員4名 賄材料費 13,996千円（物価高騰対策分9.3%、1,172千円を含む）
教育費	小学校情報教育推進事業	0	1,865	▲1,865	-		小学校教育振興事業に統合
教育費	小学校教育設備整備事業	1,682	2,167	▲485	200		理科、算数教育に係る教材備品・消耗品
教育費	小学校就学援助事業	12,450	12,800	▲350	200		要・準要保護児童・生徒援助費 11,600 特別支援教育就学奨励費 850
教育費	小学校教育振興事業	19,347	16,029	3,318	200		町内小学校6校に係る教材費 834、消耗品 11,040 学校教育関係補助金（校外活動費他） 1,882
教育費	職員人件費	6,967	6,620	347	200		作業員1名（加悦中学校）

■令和7年度当初予算概要（歳出）

《 学校教育課 》 （単位：千円）

款名称	大事業	令和7年度 当初①	令和6年度 当初②	増減額 ①-②	予算書頁	予算概要 資料頁	摘要
教育費	中学校管理運営事業	70,521	62,041	8,480	202		会計年度任用職員報酬等（特別支援員7名、心の相談員2名、非常勤講師4名、用務員1名）37,095 光熱水費10,485、修繕料2,775、パソコン等リース料5,358 日本スポーツ振興センター負担金 300 ※会計年度任用職員報酬・職員手当・共済費の増6,868
教育費	中学校施設整備事業	2,000	0	2,000	204		中学校照明器具取替工事（LED化）2校 2,000
教育費	中学校組合負担金	166,880	91,960	74,920	204		※会計年度任用職員の人件費増、タブレット更新費増、新給食センター工事費の増
教育費	中学校情報教育推進事業	0	887	▲ 887	-		中学校教育振興事業に統合
教育費	中学校教育設備整備事業	1,720	2,022	▲ 302	204		理科、算数教育に係る教材備品・消耗品
教育費	中学校就学援助事業	11,300	10,500	800	204		要・準要保護児童・生徒援助費 10,800 特別支援教育就学奨励費 500
教育費	中学校教育振興事業	15,457	10,220	5,237	204		町内中学校2校に係る教材費 525、消耗品 8,293 学校教育関係補助金（校外活動費他） 1,871 英語検定料補助金 384 ※教師用指導書 3,120の増
教育費	職員人件費	34,739	48,958	▲ 14,219	224		事務職員1名、調理員5名 ※事務職員1名減による
教育費	学校給食センター 管理運営事業	152,865	140,490	12,375	224		会計年度任用職員報酬等（調理員他23名）55,066 賄材料費 71,643（物価高騰対策分15.8%、11,319千円含む）
教育費	学校給食センター 施設整備事業	818,740	79,000	739,740	226	115	学校給食センター改築工事監理業務委託 8,500 学校給食センター改築工事 工事監理支援業務 3,588 学校給食センター改築工事 806,652
合計		1,897,168	864,920	1,032,248			

令和7年度

一般会計 当初予算資料

(教育委員会 社会教育課所管分)

■令和7年度当初予算概要（歳入）

《 社会教育課 》 （単位：千円）

款名称	項名称	目名称	節名称	令和7年度 当初①	令和6年度 当初②	増減額 ①-②	予算書頁	摘要
使用料及び手数料	使用料	民生使用料	児童福祉使用料	52,814	54,550	▲ 1,736	18	学童保育使用料 8,160 学童保育使用料（滞納繰越分） 30
		教育使用料	小学校使用料	408	450	▲ 42	18	小学校グラウンド・体育館使用料 408
			中学校使用料	65	80	▲ 15	18	中学校グラウンド・体育館使用料 65
			社会教育使用料	1,252	1,271	▲ 19	20	公民館使用料 170 知遊館使用料 1,000 江山文庫入館料 80 三河内郷土資料室入館料 1 土地建物使用料 1
			保健体育使用料	2,338	2,517	▲ 179	20	大江山運動公園体育館 240 大江山運動公園グラウンド 160 野田川グラウンド 261 野田川体育館 315 岩滝体育館 443 岩滝グラウンド 88 城山公園テニスコート 494 大江山運動公園テニスコート 110 野田川テニスコート 3 自動販売機等敷地使用料 216 その他保健体育施設使用料 8
国庫支出金	国庫補助金	民生費国庫補助金	児童福祉費補助金	49,628	39,266	10,362	22	子ども子育て支援交付金（31,294）のうち学童保育分 21,000
		教育費国庫補助金	社会教育費補助金	20,102	3,488	16,614	24	国宝重要文化財等保存整備費補助金 20,102
府支出金	府補助金	民生費府補助金	児童福祉費補助金	34,455	25,238	9,217	26	子ども子育て支援交付金（29,046）のうち学童保育分 21,000

■令和7年度当初予算概要（歳入）

《 社会教育課 》 （単位：千円）

款名称	項名称	目名称	節名称	令和7年度 当初①	令和6年度 当初②	増減額 ①-②	予算書頁	摘要
		教育費府補助金	社会教育費補助金	4,147	2,870	1,277	28	重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金 2,300 文化財緊急保存費補助金 575 子どものための地域連携事業補助金 1,272
財産収入	財産運用収入	財産貸付収入	土地建物貸付収入	36	0	36	30	その他町有土地建物貸付料 36
寄附金	寄附金	教育費寄附金	社会教育費寄附金	83	0	83	32	社会教育寄附金 83
諸収入	雑入	雑入	雑入	196,557	186,578	9,979	34	コピー料 50 公共施設冷暖房等使用料 400 公衆電話料（社会教育課所管） 1 学童保育おやつ代等 1,900 学童保育おやつ代等（滞納繰越分） 1 社会教育事業参加者負担金 50 その他 356
町債	町債	民生債	児童福祉債	83,100	0	83,100	38	学童保育施設整備事業債 9,500 ・野田川地域学童保育所新築工事設計業務委託10,000
		教育債	社会教育債	1,700	10,300	▲ 8,600	38	社会教育施設等整備事業債 1,700 ・はにわ資料館展示室空調機器改修工事設計業務委託1,700

■令和7年度当初予算概要（歳出）

《 社会教育課 》 （単位：千円）

款名称	大事業	令和7年度 当初①	令和6年度 当初②	増減額 ①-②	予算書頁	予算概要 資料頁	摘要
民生費	放課後児童健全育成事業	93,333	70,130	23,203	106	40	放課後児童健全育成事業委託料 70,471 野田川地域学童保育所整備設計業務委託 10,000 石川学童保育所整備に伴う補償 4,500
教育費	職員人件費	83,838	70,852	12,986	206		一般職人件費 9名
教育費	社会教育管理事業	10,510	7,145	3,365	206		会計年度任用職員報酬等 社会教育指導員 2名
教育費	社会教育推進事業	5,927	6,621	▲ 694	208	106	社会教育委員（10名）報酬 二十歳の成人式 記念品 380（200名出席見込） 与謝野町婦人会補助金 660 与謝野町文化協会補助金 1,170 与謝野町青少年育成会補助金 1,260 俳句教室講師謝金 110 与謝野町俳句大会実行委員会補助金 500
教育費	公民館活動推進事業	0	10,340	▲ 10,340	-		公民館管理運営事業及び地区公民館管理運営事業へ移管
教育費	高校魅力化推進事業	4,600	4,500	100	208	108	魅力化コーディネーター業務委託 4,400 探究・交流事業移動支援（マイクロバス借上） 200
教育費	地域学校連携事業	3,275	4,114	▲ 839	208	109	土曜・夏休み教室講師謝金 735 放課後学習支援事業講師謝金 425 学校運営協議会委員（約70名）報酬 630 地域学校協働活動推進員 7名 家庭教育アドバイザー 1名
教育費	公民館管理運営事業	32,274	31,881	393	210		中央公民館・加悦地域公民館維持管理 中央公民館高圧受電設備取替修繕 2,585 中央公民館PCB処分委託 564 会計年度任用職員報酬等 公民館主事 5名
教育費	地区公民館管理運営事業	18,462	7,407	11,055	212		地区公民館（20館）維持管理 地区公民館館長・主事謝金 4,600 地区公民館活動委託金 5,535
教育費	知遊館管理運営事業	44,639	37,677	6,962	212		知遊館維持管理 舞台照明設備調光操作卓更新 4,747 会計年度任用職員報酬等 知遊館長・主事・管理人等 5名

■令和7年度当初予算概要（歳出）

《 社会教育課 》 （単位：千円）

款名称	大事業	令和7年度 当初①	令和6年度 当初②	増減額 ①-②	予算書頁	予算概要 資料頁	摘要
教育費	文化財保護事業	42,102	14,464	27,638	214	110	文化財保護委員会委員報酬 81 滝岡田古墳、日吉ヶ丘遺跡等管理委託 419 滝のツバキ樹勢回復事業 603 指定文化財等補助金 38 伝建地区保存審議会委員報酬 82 ちりめん街道を守り育てる会補助金 300 伝健地区保存修理補助金 29,456 重伝建20周年記念事業 2,387 指定文化財候補調査謝金 71 文化財保存活用地域計画推進協議会委員謝金 87 指定建造物防火対策事業謝金 94 会計年度任用職員報酬等 文化財調査員(1名) 5,294 弓木北城跡発掘調査等 2,397
教育費	図書館管理運営事業	30,093	32,501	▲ 2,408	216		会計年度任用職員報酬等 図書貸出事務員（約14名）報酬 15,454 図書貸出パソコンリース料 1,294 図書館システム使用料 1,386 図書購入費 3,200 読み語り推進活動実行委員会補助金 200
教育費	三河内郷土資料室管理運営事業	611	509	102	218		三河内郷土資料室受付等業務委託 465 消防設備修繕 113
教育費	古墳公園管理運営事業	10,416	14,156	▲ 3,740	218	112	古墳公園指定管理料 8,545 はにわ資料館空調設備設計業務委託 1,700
教育費	椿文化資料館管理運営事業	2,756	2,756	0	218		椿文化資料館指定管理料 2,649
教育費	江山文庫管理運営事業	6,406	5,998	408	218		江山文庫維持管理 江山文庫受付業務等事務員 1名
教育費	文化財資料保存施設管理運営事業	245	744	▲ 499	220		文化財資料保存施設維持管理
教育費	社会体育推進事業	8,066	7,651	415	220	113	スポーツ推進委員報酬 1,000 与謝野町スポーツ協会補助金 2,185 野田川スポーツクラブ補助金 570 大江山登山マラソン実行委員会補助金 2,250 与謝野町駅伝大会補助金 600 京都パープルサンガ・京都ハンナリーズ公式戦観戦ツアー 440

■令和7年度当初予算概要（歳出）

《 社会教育課 》 （単位：千円）

款名称	大事業	令和7年度 当初①	令和6年度 当初②	増減額 ①-②	予算書頁	予算概要 資料頁	摘要
教育費	屋外体育施設管理運営事業	47,945	16,100	31,845	222	114	グラウンド、テニスコート等維持管理 大江山運動公園グラウンド進入路改良工事 20,000 同グラウンド設備改修実施設計委託 13,941
教育費	屋内体育施設管理運営事業	13,594	11,880	1,714	222		体育館等維持管理

令和7年度学童保育所管理運営事業について

教育委員会事務局 社会教育課

1. 令和7年度入所希望受付状況（令和7年2月18日現在）

単位：人

学童保育所	通常期			長期休業期		
	定員 ①	申込 ②	差引 ①-②	定員 ①	申込 ②	差引 ①-②
加悦	80	62	18	80	80	0
岩滝	80	78	2	80	88	▲8
三河内	15	15	0	15	25	▲10
市場	50	43	7	50	50	0
山田	30	16	14	30	27	3
石川	20	30	▲10	20	36	▲8

※石川学童保育所に入所しただけなかった児童は、子どもを見守る場所として「石川臨時見守り室」を石川地区公民館に設置し対応

※長期休業期においては、加悦学童保育所及び岩滝学童保育所の定員を増員し対応

2. 業務委託

受託事業者 ハーベストネクスト株式会社（神奈川県横浜市）

委託期間 令和7年3月1日 ～ 令和8年3月31日（予定）

委託金額 69,820,000円（非課税）

3. 事業の特徴

- ①様々な学ぶ機会、体験する機会を増やす季節行事やイベントの実施
- ②アプリ「コドモン」を活用した保護者との日常的な連絡（児童入退室通知、アンケート含）
- ③小学校・図書館との連携
- ④長期休業中の弁当手配
- ⑤支援員研修の実施

野田川地域学童保育所整備について

1. 整備の概要

(1) 三河内学童保育所

⇒三ツ葉グラウンド地内に新築整備

(2) 石川学童保育所

⇒石川農構センター・石川地区公民館裏側の駐車
場地内に新築整備

(3) 施設規模

⇒両施設ともに定員30～40人程度とする。

⇒木造平屋建て(約100㎡)とし、京都府福祉
のまちづくり条例整備基準に適合した施設とす
る。

【整備予定地】



2. 財源

(1) 子ども・子育て支援施設整備交付金(国・府)

⇒補助率5/6 ※外構工事等は対象外

(2) 合併特例債

⇒充当率95%

3. スケジュール(予定)

(1) 設計

⇒令和7年2月 契約・着手

※相手先: 浪江建築事務所(字三河内)

※契約額: 4,180千円(税込)

⇒令和7年4月 概算工事費算出

⇒令和7年7月 完了

(2) 工事

⇒令和7年6月 補正予算計上

⇒令和7年8月 入札

⇒令和7年9月 契約・工事着工

⇒令和8年3月 竣工・移転

4. 石川区の補償内容

石川農構センター・石川地区公民館玄関側のプレハブ(2棟)を移設し、駐車スペースを確保する

大江山運動公園グラウンド施設改修工事の概要

教育委員会事務局 社会教育課

1. 進入路改良工事（予算額 20,000千円）

原子力災害による避難時に、大型車両がグラウンド内に進入できるよう進入路の改良を行う。

■進入路の勾配変更

進入路の勾配を現在の最大12%から7%まで下げる。同時に進入路をグラウンド内部まで延長する。（延長に伴い陸上競技用砂場は撤去）

■進入口幅の拡幅

進入口幅の拡幅、町道との接続部付近グラウンド側のサイレン柱等に移設する。



2. 設備改修設計（予算額 13,941千円）

令和8年度に付属施設の建て替え・改修及び設備の更新を行う。

■トイレ1の解体・新設

建物の老朽化及び多目的トイレがないことに対応するため、解体・新設する。

■トイレ2の改修

多目的トイレ以外の個室トイレがすべて和式でバリアフリーではないため、これを改修する。

■放送設備改修

老朽化及び電波法不適合により更新。



第2期与謝野町 高校魅力化ビジョン概要



1. 第1期ビジョン期間の取組と成果

(1) 地域探究学習⇒ゼロからイチを生みだし、多くの人の笑顔をつくる事業の創出

☆事例：廃校校活用イベント・子ども向けイベントの開催・地元食材を活用した商品の考案等



☆地域への愛着に対する肯定的評価の向上（全生徒向けアンケート）

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
69%	72%	76%	82%

☆3年生向けアンケート設問「卒業後は地元を離れるが、将来は戻ってきたい」

⇒「戻ってきたい」と回答した生徒の割合は令和5・6年度ともに50%超

(2) キャリア教育⇒加悦谷学舎版キャリア教育プログラムの完成

☆企業講話会⇒Kayadani 仕事図鑑（少人数の対話講座）⇒企業見学・インターン⇒模擬面接



☆地元就職率（丹後・中丹地区）は毎年50%以上をキープ

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
56%	53%	73%	50%

(3) 小中高交流・卒業生とのつながり

☆小高スポーツ交流 ⇒令和6年度：同一年度で初めて町内全小学校との交流が実現

☆小高英語交流 ⇒高校生が考案したゲームを小学生が体験

☆中高探究交流 ⇒高校生が中学生に町の魅力や探究で得た知見を伝える

☆加悦谷学舎、地元小学校で教育実習・学芸員・図書司書志望の卒業生が町図書館にインターン



2. 第2期ビジョンの取組内容

第1期の期間で完成した地域探究、キャリア教育、スポーツ交流については、安定的かつ効率的な事業の継続を目指すこととし、新たなつながり、持続可能な推進体制、積極的な魅力発信については、効果的な施策を検討、実施します。

(1) 地域探究学習の推進	
①	総合的な探究の時間の内容的充実と効率的実施の両立
②	各教科学習における地域教育資源の活用の推進
③	中高連携の推進（探究図鑑の作成等）
④	校外活動の推進（部活動型・有志ボランティア型・生徒提案型・主権者参画型）
(2) キャリア教育の推進	
①	進路講話会・企業見学・模擬面接会の実施
②	Kayadani仕事図鑑の実施
③	Kayadani仕事体験の実施
④	産業振興会議提案事業との連携
⑤	町政説明会の実施（随時開催：講座形式・対話形式）
(3) スポーツ交流の推進	
①	スポーツ交流事業の拡充（中学校との交流）・ジラソーレへの接続
②	部活動（中学校）の地域移行における連携
(4) 新たなつながりの構築	
①	卒業生との連携・交流の推進
②	町が関わりを持つ学校・団体との連携・交流の推進（香里ヌヴェール学院等）
(5) 持続可能な魅力化推進体制の構築	
①	PTAも含めた魅力化の推進
②	転任・新任者向け魅力化説明会の開催
(6) 積極的な魅力の発信	
①	高校生による発信の強化（広報よさの・有線テレビ・町SNS等）
②	多様な場における事業実績・進捗状況の報告・意見交換

3. 第2期ビジョンの評価指標

第2期で推進する事業の評価指標をそれぞれ以下のとおり設定し、実現に努めます。

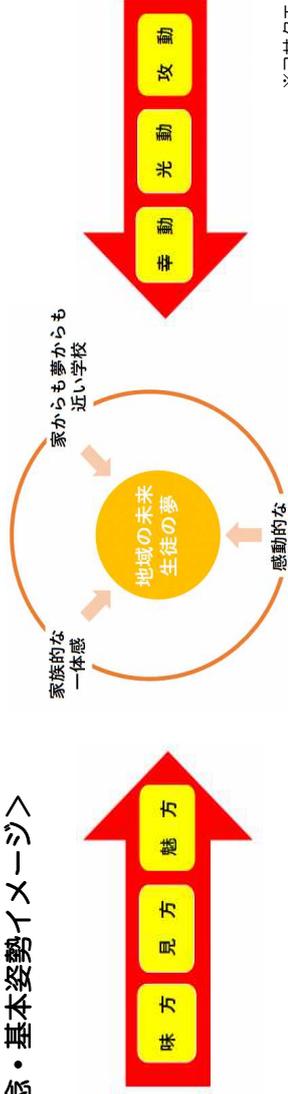
項目	現状・目標		調査手法
(1) 地域探究学習の推進	現状	地域愛着度 肯定的評価 82%	アンケート調査
	目標	地域愛着度 肯定的評価 85%	
	現状	将来の地域貢献人財の可視化	アンケート調査
	目標	Uターン志望者の増	
(2) キャリア教育の推進	現状	地元就職率 50%超	実績
	目標	地元就職率の維持	
(3) スポーツ交流の推進	現状	小学生との交流	実績
	目標	交流範囲の拡充	
(4) 新たなつながりの構築	現状	単発的なつながり	実績
	目標	学舎・町としてのつながりづくり	
(5) 持続可能な魅力化推進体制の構築	現状	継続的な体制なし	実績
	目標	継続的な体制づくり	
(6) 積極的な魅力の発信	現状	単発的な発信のみ	実績
	目標	生徒主体による継続的な発信	

第2期 与謝野町高校魅力化ビジョン推進イメージ

1. 基本理念 「学社協働」 ～与謝野町版 三方よし (味方・見方・魅力) の学びづくり
味方：(みんな) 安心安全な場づくり 見方：(みえる) 良質な出会いづくり 魅力：(みらい) 協働による魅力ある地域づくり
2. 基本姿勢 攻動から光動へ 光動から幸動へ
攻動：「自信」をもって生きるヒントを掴む 光動：「チームワーク」を大切に自分と仲間の光を発見する 幸動：「感謝」を大切に自分と社会の幸福を両立する

加悦谷学舎が「家からも夢からも近い学校」となり、みんなが「家族的な一体感」から「感動的な連帯感」を感じられる学びづくりを目指します

＜基本理念・基本姿勢イメージ＞



※ヨサクエ・コミュニティとは？
与謝野を探究するニヨサノをクエリストするの略
高校も含めた教育に対する当事者（協力者）の集まり

3. 地域総がかりの人づくりイメージ

